

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和元年 8月27日



学校だより

9月号

Email y3motois@edu.city.yokohama.jp

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

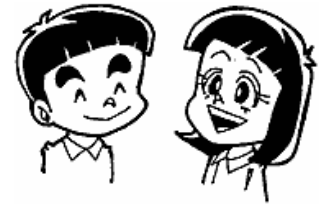
だれもが居心地のよい学校づくり

校長 鈴木 彰

夏休み前よりも日に焼けた元気な子どもたちが、学校に帰ってきました。このひと月、いつまでも梅雨明けしなかったり、急に猛暑が続く日々になったり、同時に複数の台風が発生したりと落ち着かない夏でしたが、きっと子どもたちは楽しく過ごしたことでしょう。教室で思い出話が飛び交う様子が目に浮かびます。

夏休みに入る2日前の7月18日、山内中学校ブロックの「子ども会議」が開かれました。そして、夏休み明け2日後の8月28日に青葉区の「子ども会議」が開かれます。

子ども会議のテーマは、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」です。山内中ブロックの山内中、元石川小、山内小、新石川小、美しが丘西小の代表の児童・生徒は、学校を居心地のよい場所にするために自分たちが取り組んでいることを振り返り、さらによりよい学校をつくっていかうとする夢を語っていました。



なかでも「たくさんの友達のよさを見つけてほめ合う実践」が多くの学校から報告されました。帰りの会で友達のよかったことを発表する「今日のキラリ」「今日のキラキラさん」「ほめほめシャワー」など、友達のよいところやよい行いを見つけて、みんなの間で認め合うことのよさや大切さについての話題が活発に話し合われました。周りにいる大人も本当に共感できるものでした。

ほめられることで自分のよさを認められれば、その教室で居心地がよくなります。相手をほめると自分も心地よくなります。そういう相手とは あたたかいつながりが生まれます。クラスいっぱいにあたたかいつながりが網の目のように広がっていけば、きっと居心地のよい学校をつくることができるでしょう。子どもたちの話し合いに心があたたかくなっていくようなひとときでした。元石川小学校も、どの子どもよさを認められ活躍できる学校になってほしいと思います。

そういえば、「よさ」と「活躍」という言葉で、以前に聞いたこんな話を思い出しました。

不器用でも大切な薬指のような人

薬指は、指の中ではいちばん不器用です。力もありません。これと違って役に立っていないように見えます。でも、めったに使われないので、いちばん清潔です。だから薬をつけるときに活躍するのです。

ふだんは目立たない薬指のような人がいます。自分が先頭に立って活躍できないことを悩む人もいますが、それは間違いなく その人のよさです。その不器用さが、ここ一番で求められるときが必ずくるのです。

子ども会議で話し合いをもった児童・生徒をはじめとし、すべての子どもが相手のよさを見つけ、ほめ合えるようになったら素敵ですね。10月の運動会に向けた取り組みの中でも、そんな姿がたくさん見られるのが楽しみです。